

1 題材名 アート・レポーターになって伝えよう

2 題材の目標

- 外国や我が国の美術作品に興味をもち、よさや美しさについて、自分の見方や感じ方で味わおうとする。(造形への関心・意欲・態度)
- 美術作品をよく見て、紹介する文章にまとめながら、作品全体の印象や細かい部分の特徴をとらえたり、よさや美しさを感じ取ったりする。(鑑賞の能力)

3 題材について

本題材は、美術作品を鑑賞し、表されていることや作者の表現意図などを考え、人に伝えることを楽しむ活動である。作品を鑑賞して伝え合う活動に、「アート・レポーター」という、高学年の児童にとって興味・関心をもてるような役割を設定することによって、コミュニケーションの活性化を図ることができる題材であると考えられる。

本学級では、図画工作を好きな教科に挙げる児童は多く、関心が高い。しかし、鑑賞活動においては、自分の意見がなかなかもてなかったり、友人の意見をそのまま受け入れてしまう場面も見られる。そこで、活動の場で一人一人が自分の考えをもつこと、様々な活動の中でお互いのよさを見付け合うことを大切にしている。その結果、自分なりの意見を出すことや、自分なりの表現をしていくことのよさを感じることができるようになってきた。

本題材における、外国や我が国の美術作品を対象とした鑑賞は、児童にとって初めての活動になる。そこで、導入の段階において、「風神雷神図屏風」の形・色・構図等をコンピュータで加工した数点の作品を提示し、作品に関する説明文を紹介することで、正しい作品を選ぶ活動を行う。このようなクイズ形式の鑑賞を取り入れることで、活動の意欲を高めるとともに、作品をよく見ること、作品から受ける印象や特徴がよく伝わる説明文をつくることの大切さに気付かせたい。また、班での鑑賞活動では、まず、ワークシートに自分で発見したことや考えたことを書く活動を設定して、自分の考えをもつことで、一人一人が主体的に話し合いに参加できるようにしたい。発表の際には、アート・レポーターになりきって紹介することで、楽しく伝え合う活動にしたいと考える。

4 指導と評価の計画

時	ねらい・学習活動	学習活動に即した評価規準（評価方法）	
		美術への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
1	<ul style="list-style-type: none"> ●「風神雷神図屏風」の説明文を基に作品を鑑賞し、美術作品をよく見ることや説明文の書き方を理解する。 ●提示された美術作品の中から1点を選んで鑑賞し、全体の印象、形や色、表し方などを基に説明文を作成する。 ●アートレポーターとなって、作品を紹介し合い、形や色、表し方の面白さに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が感じたことを話したり、書いたりする活動を通して、美術作品のよさや美しさを味わおうとしている。(観察, ワークシート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・友人の意見や資料を参考にしたり、説明文にまとめたりながら、美術作品のよさや美しさを感じ取っている。(観察, ワークシート)

5 本時の学習

(1) 目標

自分が感じたことを話したり、説明文にまとめたりする活動を通して、美術作品のよさや美しさを感じ取ることができる。

(2) 準備・資料

教師…コンピュータで加工した「風神雷神図屏風」、複製した美術作品、デジタル教科書、ワークシート

児童…教科書、筆記用具

(3) 展開

学習内容・活動	・指導上の留意点、㊦評価
<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div data-bbox="188 539 647 640" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"><p>美術作品をよく見て、よさや美しさを発見しよう。</p></div> <p>2 「風神雷神図屏風」の鑑賞を通して、説明文の書き方を知る。</p> <p>(1) 教師が朗読する「風神雷神図屏風」の説明文を聞く。</p> <p>(2) 色や形、構図等が加工された作品の中から、説明文のイメージに合う作品を選ぶ。</p> <p>(3) 正しい「風神雷神図屏風」を知り、説明文の作り方のイメージをもつ。</p> <p>3 班ごとに、美術作品を選んで鑑賞する。</p> <p>(1) 教科書に紹介されている三つの作品の中から、紹介したい作品を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none">・「日ぼつの航海」 作者：ロブ・ゴンサルベス・「空から見たパリ」 作者：マルク・シャガール・「富嶽三十六景・神奈川沖波裏」 作者：葛飾北斎 <p>(2) 鑑賞して気付いたことをワークシートに記入する。</p> <p>(3) 班ごとに意見を出し合って、説明文をまとめる。</p> <p>4 本時の活動を振り返り、次時の活動を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none">・美術作品のカレンダーや絵はがきなどを紹介し、生活の中に美術作品が多く取り入れられていることを確認するとともに、活動への興味をもたせたい。・美術作品を鑑賞して特徴を発見するだけでなく、よく見ることや、よさや美しさを味わう活動であることを説明する。・形・色・構図等をコンピュータで加工した「風神雷神図屏風」を数種類用意し、説明文を基に正しい作品を選ぶクイズ形式を取り入れることで、楽しみながら活動できるようにする。・デジタル教科書の「風神雷神図屏風」を見せ、説明文と比べることで、作品の印象や特徴をよく捉えることの大切さに気付かせたい。・作品の特徴を捉える際に、形・色・構図・技法・動き・奥行き等の視点が大切であることを確認する。・美術作品を鑑賞して、見たことや感じたこと、考えたことなどを紹介する役割の人を、「アート・レポーター」ということを知らせ、児童の意欲が高まるようにする。・まず、自分で作品を鑑賞し、気付いた特徴や気に入った部分、考えたことなどをワークシートに記入するように伝える。・机間指導で児童の様子を見取り、鑑賞したことをワークシートに記入できるように、個別に支援する。㊦自分が感じたことを話したり、書いたりする活動を通して、美術作品のよさや美しさを味わおうとしている。(観察、ワークシート)・鑑賞が進まない児童には、作品の特徴を捉える視点を提示したり、作品から受ける印象を広げるような声掛けをしたりする。・班で説明文をまとめる際には、文章を書くことで悩まないように、短い文章でもよいことを告げる。・班ごとの説明文を確認し、美術作品の特徴についての説明と、よさや美しさについての説明が、バランスよく含まれているかを確認する。㊦友人の意見や資料を参考にしたり、説明文にまとめたりしながら、美術作品のよさや美しさを感じ取っている。(観察、ワークシート)・同じ美術作品でも、人によって多様な見方があり、それがよいと決めることよりも、それぞれの見方のよさがあることを確認し、それぞれの鑑賞の仕方に自信がもてるようにしたい。